

生活経済政策研究所主催  
社会運動の再生に向けて～韓国の市民・  
女性・労働運動から学ぶ vol.2

# 社会を変えた韓国のダイナミズム —対立から参加型ガバナンスへ

〈韓国非営利セクターを理解するために〉

2021年1月14日

桔川純子

# 1. 非営利セクターのキーワード

マウル共同体

社会的企業

社会革新

公共

市民社会団体

協同組合

協治

マウル企業

社会的経済

# 1. 非営利セクターのキーワード

「ソウル特別市マウル共同体づくり支援などに関する条例」

(2012. 3. 15. 施行)

第2条（定義） この条例で使用する用語の定義は、次の各号のとおりとする。

1.“マウル”とは、住民が日常生活を営みながら経済・文化・環境などを共有する空間的・社会的範囲をいう。

2.“マウル共同体”とは、住民個人の自由と権利が尊重され、相互に対等な関係の中で、マウルに関することを住民が決めて推進する住民自治の共同体をいう。

3.“マウル共同体づくり”とは、地域の伝統と特性を継承発展させ、地域の人的・物的資源を活用して住民の生活の質を高める活動をいう。

# 1. 非営利セクターのキーワード

## 「ソウル特別市民官協治活性化のための基本条例」

(2016. 9. 29日施行)

第2条（定義） この条例で使用する用語の意味は、次の各号のとおりとする。

1."民官協治"とは、社会問題の解決のために、民間とソウル特別市(以下"市"という)が共同で政策を決定・執行・評価する市政運営方式及び体系等をいう。

2.「協治諮問官」とは、民官協治事業全般に対する諮問のために、「ソウル特別市民間専門家の市政参加及び支援に関する規則」に基づき、市長が委嘱した民間専門家をいう。

## 2. 韓国の行政区分：全国

- 広域自治体：17（日本の都道府県に該当）  
（1特別市・6広域市・1特別自治市・8道・1特別自治道）
- 面、邑：郡の下に置かれる下部行政単位（日本の町、村に該当）
- 洞：市、特別市や広域市の区の下に置かれている下部行政単位

区分	市	郡	区	行政市	区※	邑	面	洞
全国	75	82	69	2	32	230	1182	2079
ソウル特別市			25					424

※自治区ではない区

## 2. 韓国の行政区分：ソウル市

自治区：25

洞：424

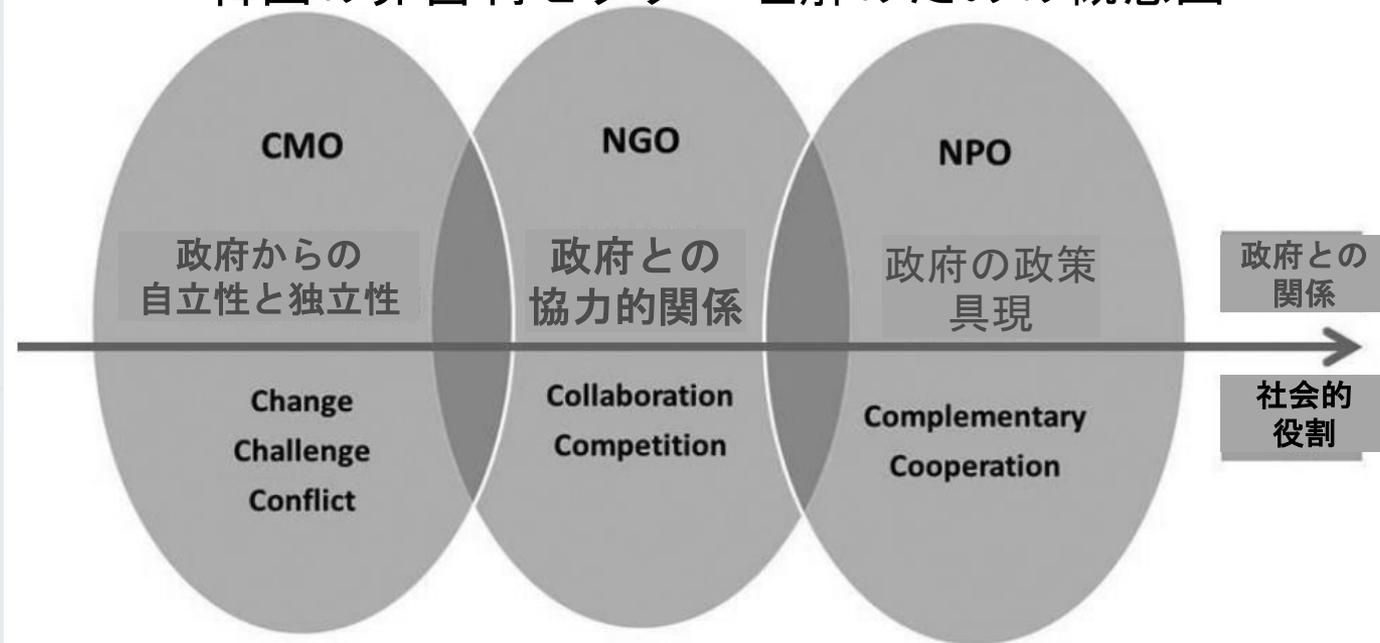


人口：全国 51,779,203 / ソウル市 9,639,541名  
(2019年、出典：韓国統計庁)<sup>6</sup>

# 3. 韓国非営利セクター

## 1) 多様な非営利組織の役割

韓国の非営利セクター理解のための概念図



出典：美しい財団第17回寄付文化シンポジウム資料『Giving Korea2017』

※CMO（Civil Movement Organization）：市民運動団体、市民社会団体

# 3. 韓国非営利セクター

## 2) 非営利組織の分布

〈韓国非営利セクターDBの現況〉※（1）

非営利法人	非営利民間団体	民間団体総覧
約24,574	13,741	11,769

〈非営利民間団体 市・道の登録状況(2017年6月)〉

合計	ソウル	釜山	大邱	仁川	光州	大田	蔚山	世宗特別自治市	
12,126	2,038	809	411	673	593	538	348	26	
	京畿	江原道	忠北	忠南	全南	全北	慶北	慶南	济州
	2,178	326	448	425	916	564	761	722	350

出典：美しい財団第17回寄付文化シンポジウム資料『Giving Korea2017』

※（1）各主務部（日本の省に該当）に登録された非営利法人、行政安全部（日本の総務省に該当）の登録非営利民間団体のリスト、（社）市民運動情報センターの『韓国民間団体総覧』（2012）のNGOリストから概数を抽出

# 3. 韓国非営利セクター

## 3) そのほかの主な非営利セクター

### ▶ 社会的経済領域の団体

社会的企業(雇用労働部)、協同組合(企画財政部)、  
マウル企業(行政安全部：コミュニティ・ビジネス)、  
自活企業、青年ソーシャルベンチャー

2007年 社会的企業育成法

設立された社会的企業：3,294 (2020.12現在)

2010年 マウル企業育成事業開始

2012年 協同組合基本法

設立された協同組合：19,572 (2021.1現在)

## 4. 次のステージへ

コロナ契機に、新たな課題に向けての取り組みが始まる



写真提供：『恩平（ウンピョン）市民新聞』

2020年3月9日、恩平区社会的経済のハブセンターで、恩平区マウル共同体支援センターと地域のネットワークなどが「優しさの分かち合いマスク」をつくる様子